

2023年2月10日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 原嶋 洋平

フィリピン国ダルトンパス東代替道路
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2023年1月30日(月) 14:00～17:27
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：阿部(貴)委員、石田委員、源氏田委員、柴田委員、原嶋委員
- ・議題：フィリピン国ダルトンパス東代替道路(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【SC 時回答表】フィリピン国ダルトンパス東代替道路建設事業
 - 2) DFR (2) ～ (19)
 - 3) DFR_13-Att-2.1_第1回住民協議 MoM (20) ～ (28)
 - 4) Presentation (29) ～ (30)
 - 5) DFR_13-Att-2.2_第2回住民協議および FGDs (31) ～ (43)
 - 6) EIA (44) ～ (45)
 - 7) IPP (46) ～ (47)
 - 8) RAP (48)
 - 9) RAP_Annexes (49) ～ (50)
 - 10) ANNEX B - Compendium of PH Laws on Vulnerable Groups (51) ～ (57)
 - 11) RAP_Appendices (58) ～ (67)
 - 12) Appendix B(1)_1st Public Consultations (68) ～ (76)
 - 13) Appendix B(2)_2nd Public Consultations and FGDs (77) ～ (89)
 - 14) 【助言対応表】フィリピン国ダルトンパス東代替道路建設事業
 - 15) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第145回委員会)

- ・日時：2023年2月10日(金) 14:00～15:35
- ・場所：オンラインおよび JICA 本部 (2階 229 会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業の代替ルート案検討に適用された多基準分析における 1 次基準（計画・建設技術、自然環境、社会環境、経済性）の重みづけの考え方について、FR に記述すること。

環境配慮

2. 本事業の詳細設計調査以降を通じ、供用開始時から 2 年間まで実施するモニタリング調査において希少種（*Rafflesia Consueloa*、*Ceratocentron* 等）が確認され、本事業がその生育環境に質的変化を及ぼす場合、その生育環境に対して保全措置を実施するよう実施機関に申し入れること。
3. 本事業では例外的に PCWFR（Pantabangan-Carranglan Watershed Forest Reserve : 保護区）を利用せざるを得ないが、PCWFR の目的である水源開発・改善が損なわれないよう、工事中及び供用開始後 2 年間、先方実施機関がモニタリングを実施し、水利用や水源の状況等を確認することを申し入れること。また、水利用や水源の状況等に影響が及ぶ場合には、水源・水の確保のために必要な対策を講じることを実施機関に申し入れること。
4. 森林伐採に伴う再植林地、土石流対策ダムの建設地、土捨て場および送電設備の設置場所については今後決定されるが、これらにおける環境社会影響について適切な配慮を行うよう実施機関に申し入れること。

以 上